

# WABARA®

Rose Farm KEIJI 農園からフレッシュな花束を

WABARA TOKYO DELIVERY SERVICE

2021年11月 東京でWABARAのデリバリーサービスがスタート



オリジナル品種の「WABARA（和ばら）」を栽培する ばら園「Rose Farm KEIJI（ローズファームケイジ）」（滋賀県守山市 CEO：國枝健一）は、2021年11月より、農園から東京のアトリエに届いたばかりの新鮮なWABARAを、デリバリースタッフがご指定の場所までお待ちし、手渡しでお届けする「WABARA TOKYO DELIVERY SERVICE」をスタートします。

Rose Farm KEIJIの新たな拠点として構えた東京のアトリエよりブーケにしたWABARAをデリバリースタッフが引き取り、お客様のお手元までお届けするのにかかる時間は最大約1時間。瑞々しく新鮮な状態でお届けします。

急なお花のご依頼にも対応が可能となり、駅や施設など、ご自宅以外でのお待ち合わせでのお届けも可能です。

ギフトに、ご自分用に、ぜひご利用ください。



## WABARA TOKYO DELIVERY SERVICE の特徴

### 農園から届いた新鮮なWABARA

農園からお届け日に合わせて届くWABARAを、東京のアトリエで、その日に「Rose Farm KEIJI」のスタッフがブーケにしてお届けします。

### 配達員のピックアップからお渡しまで最大約1時間

お届け時間の約1時間前まで、「Rose Farm KEIJI」のスタッフがお花の管理をしています。交通機関の乱れや渋滞による遅延、クール便によるお花の凍結などのリスクを最小限に抑えます。

### ミニマムな梱包資材でご自宅以外での受け渡しも可能

花束をミニマムなラッピングでペーパーバックに入れてお届けします。お受け取りはご自宅以外でも可能です。特定できる場所(駅の出入り口やカフェ、公共施設等)であれば待ち合わせでの受け取りも可能です。受け取った方も梱包資材の処理のお手間もかからず、ご自宅以外での受け渡しもスムーズに行えます。

### 急なお花のご依頼にも対応 最短で翌日のお花のお届けが可能に！

お花をご用意できる場合に限り最短でご注文の翌日のお届けが可能となります。

\*今後は当日ご注文の対応などサービスの拡大を予定しています。

## WABARA TOKYO DELIVERY SERVICE の商品について (すべて配達料、税込)

和ばら束 (和ばらのみ)

10本 ¥4,950 / 25本 ¥11,000

和ばらブーケ (和ばら+ 和ばらの枝葉)

10本 ¥5,500 / 15本 ¥8,250 (本数は和ばらの数)

今後、ホリデー用商品やお正月用商品も展開を予定しています。

### お届け時間

ご指定日の10:00~22:00の間でご希望の時間帯 (1時間枠で設定) が選択可能

### ご注文方法

ホームページよりご注文ください。 <https://www.wabararose.com/pages/tokyo>

### 2021年のお届け予定日

11月18日(木)~24日(水)、12月10日(金)~24日(金)

### 2021年の配達予定エリア

港区、渋谷区、新宿区、豊島区、中央区、千代田区、文京区、台東区

## WABARA DELIVERY SERVICE

### その他

- ・お届け可能日、内容、個数限定で、配達対象エリアのみでサービスをスタートします。
- ・2022年以降は、当日のご注文対応、稼働日、商品の拡充などサービスを充実する予定です。
- ・サービス内容に変更が生じる可能性があります。オーダー時に、ホームページにて最新の情報をご確認ください。

### お願い

- ・お受け取りは1時間ごとの時間指定が可能です。お受け取り可能なお時間帯でご注文ください。
- ・到着後10分程度はお待ちいたしますが、ご連絡が取れない場合は置き配または持戻りとなります。
- ・不在票による再配達、お届け時間の変更等はできません。
- ・不在によりお受け取りができなかった場合も返金はいたしかねますのでご了承ください。

## WABARAとは



滋賀県守山市のばら園「ローズファームケイジ」のオリジナル品種のWABARAは、「風になびく、野に咲く花のようなばらを育てたい」という、ばら作家 國枝啓司の思いのもと、誕生しました。

一般的なばらとは異なり、柔らかい花姿で、たおやかな茎を持ち、香り高く、日ごとに表情をかえていきます。

自然に限りなく近い環境をつくりだし、育つことをばらに任せる独自の栽培方法で育てたばらたちは、繊細でたおやかでありながら、内に秘めた力強さを持ち合わせます。

4haの広大な農園では、切り花、園芸苗の他に、無肥料、無農薬で育てる食べるためのばらも育て、食べられるばらを使用した商品開発にも力を入れています。

## 関係者プロフィール



### 國枝啓司 | Keiji Kunieda /ばら作家

1956年、滋賀県生まれ。1976年に父である國枝栄一が営む國枝バラ園に就農、栽培技術担当者として生産に従事する。1981年、ヨーロッパ研修にて学んだ思想や技術をもとに育種家としての活動を開始し、皇太子殿下、雅子妃殿下（現天皇皇后両陛下）に献上した「プリンセスマサコ」や神戸元町のシンボルローズをはじめとするオリジナル品種の創造に励む。2003年、ばら園「ローズファームケイジ」を設園。2006年に長男健一を事業パートナーに迎える。10年をかけて慣行栽培から土耕栽培への移行を実現するとともに、オリジナル品種を「WABARA」ブランドとして確立させる。健一に経営を継承した現在は、ばら作家としての活動に専念している。



### 國枝健一 | Kenichi Kunieda /ローズファームケイジ代表

Rose Farm KEIJI 代表。ばら作家の父 國枝啓司の生み出すばらを「和ばら」と名付けるとともに、和ばらの世界観の構築のため栽培方法を一から見直し、父とともに理想のばらを追う。現在の栽培手法を確立し、琵琶湖畔に農園を新設。ばらの栽培の風景までもを価値化し、切り花から園芸苗、食用ばら、加工品事業を自社で一貫して行う。また「WABARA」として、和ばらの哲学や思想を世界に発信。海外からも注目を浴びる。現在6カ国に生産パートナーをもつ。

お客様お問い合わせ先

Rose Farm KEIJI Website <https://www.wabararose.com>

メディア お問い合わせ先

HOW INC. E-MAIL [pressrelease@how-pr.co.jp](mailto:pressrelease@how-pr.co.jp) TEL 03-5414-6405